

ファーストペイン通信

第17号
発行日
令和4年7月20日（水）
発行人
八王子実践中学校
中学部長 石川敦史



地球からおよそ2億9000万キロメートル離れた小惑星「リュウグウ」で採取された岩石サンプルが、JAXA相模原キャンパスに到着したのは令和2年12月8日でした。

偉業を成し遂げた話題の施設を訪れ、宇宙への興味関心が高まつたでしょうか。

令和4年7月9日（土）、1年生と2年生15名が相模原に向かいました。3年生は全員拓殖大学訪問でした。

JAXA宇宙科学研究所

午前10時に受付を済ませ、いよいよ入場です。まず、目に飛

び込んできたのが、はやぶさ2の実物大模型です。テレビで見たことがあるけれど、これほど大きいとは思いませんでした。

リュウグウから採取した岩石を見ました。その成分を分析すると、地球・海・生命の起源がわかるかもしれませんと聞いて、改めて「はやぶさ2」の偉業に思いをはせました。



手前のルーペで見ます

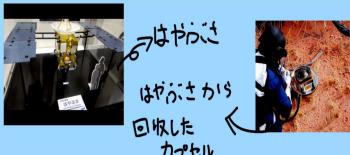
J-Trial 特集 第1弾 宇宙科学探究

—「はやぶさ2」に会いに行こう！—

今、はやぶさ2は新たな小惑星1998KY26に向けて旅を続けています。今度私たちを感動させてくれるのは、2031年7月だそうです。

感想

JAXAではやぶさから回収したカプセルの映像を見た時、落とされたカプセルを頑丈な箱に入れて、色々な人に守られていたから、とても珍しくて大切なものなんだと思いました。



小惑星リュウグウ

人類が初めて探査したC型小惑星。岩石の中に有機物や水が含まれているC型小惑星で、地球・海・生命の起源と進化を探求する鍵となる天体。

大きさは直径900メートル。
約7時間38分で自転しています

相模原のJAXA博物館に行ってきました。博物館の中は宇宙に飛んだはやぶさなどの模型や、実際回収した砂などが展示してありました。

印象に残っているのは、動画のことです。まだ誰も成し遂げたことのないことに挑戦し、成功させる人たちがすごく印象に残っています。僕もそんなカッコいい人たちのようにできうる事でもどんどんチャレンジし、いつか成功させるような人になりたいと思いました。

相模原市立博物館

玄関ロビーに、はやぶさ2の実物大模型が置かれています。併設するプラネタリムでは、さまざまな天体ショーを見ることができます。参加者のレポートをご覧ください。

感想

色々なはやぶさ2の事や昔の家や道具のことがわかりました。その他にもはやぶさ2の打ち上げがどんな大変な作業なのかよくわかりました。また色々な惑星や隕石の種類とかがわかりました。今回ことでどんな宇宙がすごいのかがとても知りました。



相模原市立博物館

②ここでは、歴史・自然・天文の3つのテーマがあり、発掘された土器や昔の農具、動植物の標本、地域の都市化の歴史や復元した開拓農家など展示されています。

⑤歴史では、旧石器時代水俣期に当り、人口は大陸からマモヌギオリトリシカなどの大型動物を求めてや。できました。

僕はJAXAの見学に行って思ったことは、宇宙に行く「はやぶさ2」など実験をたくさんして、この世界の始まりなどを解説しようとしている試みがすごいと思った。実際5年生の時鉱物のことを自由研究にして発表しようとしたら、宇宙のことが出てきて複雑すぎてやめた苦い記憶があったのですが、やはり宇宙は可能性が無限大だなーと改めて思いました。

博物館では、実際に土器を見たり、生き物の標本を観たりして新たな発見があって楽しかったです。他にも昔の家や、昔の街が見れてとても面白かったです！！

特に小学生の時の社会科の授業で学んだことの応用がってすごく勉強が深まりました！また機会があったら行きたいです♪



天文では、隕石の薄片標本の展示や、隕石の顕微鏡での觀察で、小惑星イトウヒニ隕石などを比較することができます。また、本物の隕石に触れて宇宙とのつながりを感じ取ることもできます。



JAXA相模原に行って色々なことを知ることができました。特にJSASによる研究開発について書いている資料を書いてあるUSRESというのがすごいと思いました。成功した最初の事例というのがすごいと思いました。博物館では色々な時代のものや建物、生物が間近で見ることができて色々なことを学ぶことができました。